



2022 (令和4年) 年6月22日 (水) 発

〔発行所〕 応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5 麹町ロイヤルビル405号室
TEL : 03-5216-8401 FAX : 03-5216-8520 E-mail : eces-manager@ecesj.com HP : <https://www.ecesj.com/>
〔発行者〕 応用生態工学会 (編集責任者: 幹事長 天野 邦彦, 事務局長 住谷 昌宏)

1 はじめに	1
2 3学会合同大会 (ELR2022 つくば) 開催案内	2
3 2022年度海外学会等への派遣者の選考結果報告	9
4 理事会・幹事会報告	10
5 2022年度行事の経過と今後の予定	12
6 事務局より	13

1 はじめに

今号では、2022年9月に開催される日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会3学会合同大会『ELR2022 つくば』のご案内を掲載します。

なお、発表申し込み、研究集会・企業展示(資材工法展示)申し込み、ELR2022つくば 広告掲載申し込みの期限が7月15日となっておりますのでお早めをお願いいたします。

また、2022年度海外学会等への派遣者の選考結果を報告します。

2 3学会合同大会 (ELR2022 つくば) 開催案内

ELR2022 つくば 実行委員会

日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会3学会合同大会 『ELR2022 つくば』のご案内

【開催趣旨】

日本緑化工学会、日本景観生態学会、応用生態工学会の3学会は、ともに生態分野の応用的研究を行う学術団体であり、研究者間の交流、研究成果の公表体制の強化などをねらいとして、英文誌 LEE (Landscape and Ecological Engineering) の発行などの協力・連携活動を行ってまいりました。また、2008年、2012年、2017年には一層の連携を図るため、合同大会である ELR を実施してきました。今回これらの活動を継続し、発展させるため、4回目の3学会合同大会である『ELR2022』を茨城県つくば市で開催します。なお、ELR は3学会の英名から1文字をとったものです。

今回の『ELR2022 つくば』のテーマは、ネイチャーポジティブ (Nature Positive) です。これは「生物多様性の減少傾向を食い止め、回復に向かわせる」ことを指し、2030年までの達成が国際的な目標になっています。目標達成には社会・経済に変革を起こし、自然資本を持続可能なように利用することが必要となるため、環境保護の観点だけでなく、ビジネス界からの関心もかつてなく高まっています。このネイチャーポジティブの実現に向けて何が必要か、何かできるかについて、人と自然が関わる場を主な研究対象にしている3学会で連携して、みんなで考えたいと思います。公開シンポジウムでもこのテーマで議論を行う予定です。各学会の会員の皆さまからの関連する研究発表や革新的な議論を期待しています。

1. 大会概要

(1) 日程

2022年9月21日(水)～24日(土)

9月21日(水) 各学会委員会等、研究集会、公開シンポジウム

9月22日(木) 研究発表(口頭、ポスター(掲示・コアタイム))、企業展示、研究集会、

9月23日(金) 研究発表(口頭)、企業展示、研究集会、各学会総会

9月24日(土) エクスカーション

※ エクスカーションについては後日、ELR2022 ウェブサイトにてご案内をいたします

※ プログラムの内容については今後若干変更する可能性があります

(2) 会場

つくば国際会議場 (エポカルつくば) (茨城県つくば市竹園2丁目20番3号)

※ アクセス参照 URL : <https://www.epochal.or.jp>

2. 参加・発表申し込み

(1) 参加申し込み

発表申し込み、参加申し込み、参加費の支払いは、ELR2022 のウェブサイト (<https://elr2022.com>) の参加登録ページから申し込みをお願いします(6月中に開始予定です)。

団体等の請求書払いについては、ELR2022のウェブサイトでご案内する手順に従って所定の期日までに手続きと支払いをお願いします。当日参加は会場受付で申し込みをお願いします。

(2) 大会参加費

大会参加費	正会員・賛助会員	学生（会員・非会員共通）	一般
前納参加	5,000円	2,000円	8,000円
当日参加	6,000円	2,000円	8,000円

※エクスクーション費用は未確定です。確定後、ホームページに掲示します。当日支払いをお願いします。

※懇親会については現時点では開催予定はありません。

【日本緑化工学会誌大会特集号（第48巻1号）の入手について】

日本緑化工学会会員以外の方で希望する方は、1部3,000円でご購入頂けます。特集号はデジタル化されており、電子版（PDF版）のダウンロードをご案内致します。冊子体を希望する方は送料追加でご購入が可能です（冊子体の発送は大会終了後となります）。お申し込み方法は本サイトにてご案内致します。振り込みを確認の上、郵送します（3,000円/1冊+送料）。

(3) 発表申込み

ELR2022つくばは、対面+WEBのハイブリット形式で発表を行います。ポスター発表はWEB掲載のみも可能ですが表彰の対象外となります。会場での発表との併用を推奨します。

発表希望者は、所属学会にかかわらず、本ウェブサイトで発表申し込みして下さい。口頭、ポスターとも発表申込みの締め切りは7月15日（金）です。発表申込み後、要旨原稿を7月31日（日）までに提出していただきます。

原稿様式、提出方法はA4用紙で1ページです。要旨は、ELR2022つくばの要旨集に掲載されます。当日のプログラムは、所属学会にかかわらず、3学会すべての発表から内容によって振り分けたプログラムを作成します。発表に査読はなく、参加・発表申込みと要旨の提出により発表ができます。発表形式には口頭とポスターがあり選択できます。口頭発表には発表賞、ポスター発表にはポスター賞を設ける予定です。

発表者は、ELR参加の3学会会員（正会員、学生会員、賛助会員に所属する個人）に限ります。連名者には非会員を含んでも構いません。要旨提出者は、大会での発表が義務づけられます。

なお、発表申込み件数によっては、口頭、ポスターの選択希望に添えない場合がございます

(4) 発表要旨作成要領

口頭発表、ポスター発表とも発表要旨はPDFファイルとし、ELR2022つくばのホームページ（<https://elr2022.com/>）の参加登録システムから提出願います（6月中に開始予定）。提出されたものに事務局でページ番号等をふり、版下とします。PDFファイルにはセキュリティ設定等を行わないでください（印刷できない場合等があります）。ページサイズとページ数はA4、1ページです。なお、本要旨の査読は行いません。共著者が発表に同意していない旨のトラブルが発生した事

例があるため、共著者の同意を必ず得るようお願いします。

【発表要旨フォーマット】 (ELR2022 (<https://elr2022.com>) からダウンロード可能)

1) 余白

- ・上：35 mm、下：35 mm、左：22 mm、右：22 mmとする。ページ番号はなし。

2) 表題・発表者所属氏名

- ・1行目に表題を記述する。中央揃えとし、表題が長い場合や副題がある場合は適宜改行する。
- ・表題から1行あけて発表者の所属・氏名記述する。
右揃えとし、連名者が多い場合は適宜改行する。また、発表者名の前に○を付けること。
- ・本文と1行あけるものとする。

3) 本文段組・行数・文字数

- ・2段組、1段23字×37行、段間スペース約8 mm。
ただし、表題・発表者所属氏名が入るため実際の本文行数は30～33行が目安となる。

4) 見出し

- ・大見出し、中見出し、小見出しの表記序列は原則として、1、1-1、1-1-1の順とする。
なお、大見出しの前は1行あける。

5) 図・表・写真

- ・図・表・写真はモノクロ（カラーの図表を掲載しても良いが、印刷はモノクロ）で、当該位置に貼りこむ。

図・表・写真は、図1、写真1、表1のようにそれぞれ通し番号をふり、

図・写真は下部に、表は上部にキャプションをつける。

6) 引用文献

- ・本文中の引用箇所を肩付の数字で示し、文末に一括して文献を記載する。

7) 書体と文字の大きさ

- ・表題：MSゴシック体 10.5pt
- ・副題：MSゴシック体 10.5 pt
- ・所属・著者名：MS明朝体 10.5pt
- ・本文：MS明朝体 10.5pt
- ・大見出し：MSゴシック体 10.5 pt
- ・中見出し：MSゴシック体 10.5 pt
- ・小見出し：MS明朝体 10.5 pt
- ・図、表、写真キャプション：MS明朝体 10.5 pt
- ・引用文献：MS明朝体 8 pt、改行幅は適宜調整してよい。

(5) 口頭発表要領

ELR2022 つくばは、対面+WEBのハイブリット形式の開催となります。事務局ではWEB発表に万全の備えを行いますが、操作の不手際、通信環境の不具合から配信中に何らかのトラブルが発生する可能性があります。会場での発表を推奨いたします。

(会場)

- ・口頭発表は全て備え付けのパソコンとプロジェクターで行います。パソコンの持ち込みはできません

ん。OS は Windows 10、プレゼンテーションソフトは Power Point 365 (Office 365) です。Mac、古いバージョンの Power Point、あるいはその他のソフトでプレゼンテーションを作成される方は、事前に Power Point 365 で動作するか確認を行ってください。また、備え付けのパソコンは、通常の Windows 10 日本語版で標準にインストールされているフォントのみが表示できます。

- ・パワーポイントのファイルは、発表番号と発表者の名字の英語表記をファイル名として提出してください。提出期限は9月12日(月) 17:00です。
- ・発表直前にパソコンへファイルをコピーされる場合は、その作業時間も発表時間とみなします。上記提出期限までにファイルを提出していただくことをお勧めします。
- ・パソコンの操作は基本的に会場係が行いますが、自分で操作される方は会場係にお伝えください。(WEB 発表)

WEB での口頭発表は、zoom で行います。ZOOM 操作 (インストールを含む) に関するトラブル等について、お問い合わせには対応できないことがあるのでご理解のほどよろしくお願ひします。

- ・通信トラブルを極力減らすために、有線 LAN を利用可能な方は、有線 LAN でご参加ください。
- ・発表者は、自身の発表の 15 分前までには、視聴者で Zoom ミーティングに参加してください。
- ・発表時間は、発表 12 分、質疑応答 3 分です。時間のベルを鳴らしません。時間は、発表者で管理してください。Web 発表では、画面に集中し、時間チェックを忘れがちになります。モニター脇に、時間が一目でわかる大きめの時計を置いておくことをお勧めします。
- ・発表 P P T は、当日の発表までにご自身でご準備願ひします。
- ・緊急時のため、申込時に登録頂きました携帯電話を、お手元に必ずご用意ください。
- ・発表者・座長のウェビナー事前練習は、9/20 午後に開催します (任意参加です)

(5) ポスター発表要領

(会場)

- ・ポスターは横 90 cm、縦 170 cm 以内のサイズで作製してください。ただし、縦のサイズは床からのパネル高さのため、見やすい位置に貼り付けられるポスターサイズをお勧めします (A0 判 841mm×1、189mm を推奨します)。
- ・ポスターの上部に演題・発表者・所属を記載してください。発表者が複数の場合は、代表発表者の名前の前に○印を付けてください。共著者が発表に同意していない旨のトラブルが発生した事例があるため、共著者の同意を必ず得るよう願ひします。
- ・会場でのポスターの掲示期間は 9 月 22 日 (木) 9:00~17:00 までの期間とし、ポスターは 22 日 (木) の 9:00 以降、コアタイムまでに持参者自身で掲示してください。
- ・ポスター発表は発表数が多いことが予想されるため、のコアタイムは 12:00~12:45、12:45~13:30 分の 2 部制を予定しています。
- ・ポスターの撤収は、9 月 22 日 (土) 17:00 までに持参者自身で行ってください。掲示時間を過ぎてもポスターを貼り付けたままの場合は、実行委員がポスターを取り外します。取り外したポスターは、大会期間中は実行委員会で保管いたしますが、大会後は処分します。
- ・ポスターの事前送付は、事故防止のため一切受け付けません。発表当日に各自で持参してください。ポスターを貼り付けるテープは会場に準備しています。指示棒などは各自持参してください。

- ・ PC などの電子機器でデモンストレーションを行っても構いませんが、電源はありません。また、大きな音の鳴るデモンストレーションなど、周囲の発表者への迷惑となる行為はご遠慮ください。

(WEB 掲載)

- ・ ELR2022 つくばのホームページにある参加登録システムに e ポスター (ファイル形式 jpg、png ファイルサイズ 10M) の掲示が可能です。ポスターは 9 月 (予定) から大会終了まで掲示が可能です。チャットで質疑のやり取りが可能です。WEB 掲載のみも可能ですが表彰の対象外となります。会場での発表との併用を推奨します。

3. 研究集会・企業展示 (資材工法展示) の申し込み

(1) 自由集会 (研究集会)

テーマを絞って議論を深めるために、自由集会 (研究集会) の企画を募集します。議論したいテーマをお持ちの方は申込記入事項を記載のうえ、メールでお申込みください。申し込みの締め切りは 7 月 15 日 (金) です。会場数及び開催時間帯は限られていますので、申込み件数によっては希望に添えない場合がございます。

申し込み先 ELR2022 つくば 実行委員会 : E-mail:elr2022office@gmail.com

【申込記入事項】

1. 申込者の氏名・所属・連絡先住所・電話番号・Email アドレス
2. 集会名
3. 企画 (氏名、所属)
4. 内容 (300~400 字程度)
5. プログラム (詳細が未確定の場合は、提出段階の内容で記載下さい。)
6. 参加予定人数

(2) 企業展示

皆様から工法、自然再生技術、分析・調査器具、書籍などの技術や商品の展示を下記のとおり募集いたします。申し込みの締め切りは 7 月 15 日 (金) です。

団体名、担当者氏名、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス、希望展示面積 (単位数)、簡単な出展内容を添えてメールでご連絡下さい。お申し込み受付後、展示面積と方法に関する打合せをさせていただきます。なお申込み件数によっては希望に添えない場合がございます。

申し込み先: ELR2022 つくば 実行委員会 E-mail:elr2022office@gmail.com

【募集要領】

- ・ 調査機材、技術、書籍等の展示
- ・ 展示期間: 9 月 22 日 (金) ~ 9 月 23 日 (土) の 2 日間
- ・ 出展費用: 賛助会員以外: 1 標準面積あたり 10,000 円
応用生態工学会の賛助会員は無料
日本緑化工学会および日本景観生態学会の団体会員は 5,000 円
- ・ 場 所: つくば国際会議場 4F (予定)、1 件の展示面積は 5 ~ 10 m²を予定
- ・ 用 意 物: テーブル、椅子、パネルは事務局で用意します。
電気が必要な場合はその旨を記入願います。

4. 公開シンポジウム「Nature-positiveを実現させるにはー2030年にむけてー」

「ネイチャーポジティブ (Nature Positive) 」は「生物多様性の減少傾向を食い止め、回復に向かわせる」ことを指し、その2030年までの達成が国際的な目標になっています。目標達成には社会・経済に変革を起こし、自然資本を持続可能なように利用することが必要となるため、環境保護の観点だけでなく、ビジネス界からの関心もかつてなく高まっています。本公開シンポジウムは、人と自然が関わる場を主な研究対象にしている3学会が連携して開催し、この分野の複数の専門家及び行政から最新の情報を共有するとともに、ネイチャーポジティブの実現に向けて何が必要か、何かできるかについて、みんなで考えたいと思います。〈本シンポジウムは、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けています〉

日 時：2022年9月21日(水) 13:30~16:30 (予定)

参加費：無料 ※ウェブでの配信も実施します。

会 場：つくば国際会議場 (エポカルつくば) 中ホール

アクセス：<https://www.epochal.or.jp>

後援(予定)：国土交通省関東地方整備局、河川財団、環境省自然環境局、リバーフロント研究所、建設コンサルタンツ協会関東支部、土木学会関東支部、日本緑化工学会、日本景観生態学会、応用生態工学会

プログラム (講演タイトル等の詳細は検討中)

13:30~13:35 挨拶・趣旨説明

- ・国立環境研究所気候変動適応センター室長 西廣 淳 (応用生態工学会幹事)

13:35~15:05 第1部：話題提供

- ・日経 ESG シニアエディター・東北大学大学院生命科学研究科教授 藤田 香
- ・環境省
- ・MS & AD インターリスク総研 フェロー/MS & AD インシュアランスグループホールディングス TNFD 専任 SVP 原口 真
- ・積水ハウス株式会社環境推進部課長 八木 隆史
- ・リバーフロント研究所主席研究員 中村 圭吾

15:10~16:30 第2部：パネルディスカッション (Nature-positiveを実現させるには)

コーディネーター：

- ・国立環境研究所気候変動適応センター室長 西廣 淳

パネリスト

- ・山梨大学大学院総合研究部地域防災・マネジメント研究センター助教 大槻順朗
- ・北広島町立芸北高原の自然館 主任学芸員 白川 勝信
- ・京都大学大学院 地球環境学堂 地球親和技術学廊助教 貫名 涼
- ・国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 課長補佐 佐藤 希世
- ・環境省 ほか

5. その他

(1) ELR2022 つくば 広告掲載募集について

「ELR2022 つくば」の公式WEBサイトへの貴社（団体）バナー広告を募集いたします。

- ① トップバナー（サイズ W1,000×H300px） 6 枠 料金（税込）50,000 円
- ② サイドバナー（サイズ W500×H150px） 10 枠 料金（税込）25,000 円
- ③ リンクバナー（社名（団体名）のみ） 枠数制限なし 料金（税込）10,000 円

申込締切日 2022年7月15日（日）

メールに、ご希望の内容を記入いただき、下記運営事務局までお申し込みください。応募数が多い場合は抽選とさせていただきます。決定後、作成したバナーをお送りいただき8月1日頃から掲載させていただきます。

費用については、運営事務局よりご請求書をお送りいたします。ご請求書に記載された指定口座へ期日までにお振込みください。

【申し込み、お問い合わせ先】

ELR2022 つくば実行委員会 E-mail: elr2022office@gmail.com

3 2022年度海外学会等への派遣者の選考結果報告

国際交流委員会委員長 八重樫 咲子

2022年度海外学会等への派遣募集は、オンライン形式で開催される国際学会・シンポジウム・国際会議への参加費助成も対象として、2022年2月17日から3月31日までの期間で行いました。

しかしながら募集期間中に本募集への応募はなく、昨年度同様に募集期間の延長はせず、派遣者なしとしました。

4 理事会・幹事会報告

4.1 第116回理事会報告

第116回理事会が本年6月9日に開催されました。

なお、これに先立って、5月11日に第93回幹事会が開催され、第116回理事会に付議する事項について審議が行われました。

第116回理事会での審議事項と審議結果は次のとおりです。

1. 2021年度（令和3年度）決算報告

2021年度決算につき、事務局より以下の報告がありました。

- 2021年度決算は、収支差額4,421,172円の黒字となった。

この黒字決算をもたらしたのは、予算額（補正後）に対して収入決算額が228,836円の増額となった一方、支出決算額が4,192,336円の減額となったことによる。・・4,421,172円の黒字は、昨年度生じた賛助会員の2020年度分の未収金が、今年度遅れて納入され、結果的に2年以上納入した賛助会員が14会員に及んだこと、コロナ感染拡大の結果、総会、理事会、幹事会すべてが、Zoomによる会議、メールによる会議となったため会議費が0となったこと（Zoomのライセンス料は別途計上）、委員会、地域研究会の活動もZoomによる会議、開催、メールによる会議が主体となり、活動自体も制限が加わったためと思われる。他に、札幌大会においてコロナ感染に拡大により会場の一部が使用できなくなったため、前年度に納入した前払金の一部が払い戻されたことも黒字額が増大した原因と考える。

また、年2回発行の会誌のVol.24 No.2の印刷、郵送が3月下旬ぎりぎりまでずれ込んだため、2021年度の支出に未払金2,253,798円が生じたことが、見かけ上の黒字発生の要因の1つである。

- 実態としては、収支はほぼ均等になっている。
- 会誌Vol.24 No.2の印刷、郵送費の繰越により2022年度の執行見込み額は約220万円の赤字が見込まれる。

2021年度（令和3年度）決算について審議が行われ、承認されました。

2. 刊行物公表における著者・編著者名について

応用生態工学会の冠がつく刊行物等の発刊手順の作成について

誰が、刊行物に対して責任を持つのかというクレジットについて明確にすべきではないかという問題提起がありました。

今後、応用生態工学会の冠がつく刊行物についての発刊までの手順について審議されました。

刊行、発行までの手順は、テキスト刊行委員会、災害対応委員会からそれぞれ提案してもらい、理事会審議を経て作成することで承認されました。

3. 第5次中期計画の内容と対応について（幹事会関与事項を中心に）

第25回総会（2021年9月10日～9月25日にWEB開催）において、2021年度から2025年度までの5年間における学会活動の基本方針を示すものとして応用生態工学会第5次中期計画の策定について審議が行われ、第5次中期計画が下記のとおり策定されました。

このうち、以下の課題について審議されました。

- 気候変動適応策等の調査・研究課題への取り組み
- 情報発信、情報交流の促進
- 若手の会の活動支援
- 公開する情報の拡張

- ・学会賞の創設
- ・学会行事の CPD プログラムとしての登録
- ・会員のキャリアアップの支援
- ・研究発表実績に対する評価の向上
- ・会員に向けた情報の提供
- ・地域賛助会員の検討
- ・冊子体の継続の検討
- ・学会倫理規定を検討、制定

それぞれの課題について意見交換が行われ、引き続き審議を継続することとなりました。

4. 応用生態工学会と ICLEE の関係について

ICLEE と応用生態学会との関係についてより明確にすべきではないかとの幹事会からの提案を受けて審議が行われました。

今年の 11 月 19・20 日に開催される ICLEE の国際シンポジウムを含め、会員へ ICLEE の情報を周知すべきではないかという点も含め、議論されました。

国際交流委員会が ICLEE との窓口となり、今後、検討を進めることとなりました。

5. 学会資料の電子データでの保存方法について

各地域研究会でいろいろな行事が行われているが、報告書等の情報の本部事務局への集積が十分ではないこと。例えばポスター、共催情報などがなく、他地区で参考にしたいと思っても一元管理がされていない等、情報をうまく集める方法を検討すべきという問題提起があり、審議が行われました。

行事開催毎に講演者の著作権に関わる事項等に配慮しつつ、今後、各地域研究会から、電子データとして講演集、予稿集等の集積を図ることとしました。

5 2022年度行事の経過と今後の予定

2022年度(令和4年度)行事経過と今後の予定

4.1	2022年度(令和4年度)開始
4.7~15	第115回理事会(メール会議)
4.16	第5回ELR2022実行委員会
4.26	ニュースレター96号発行
5.11	第93回幹事会
6.9	第116回理事会
6.22	ニュースレター97号発行
7.13	第94回幹事会
7月	会誌「応用生態工学」Vol.25-1発行
8.4	第117回理事会
9.21~24	3学会合同大会(ELR2022つくば)開催 (つくば国際会議場) 9月21日(水):各種委員会、研究集会、公開シンポジウム 9月22日(木):研究発表、企業展示、研究集会 9月23日(金):研究発表、企業展示、研究集会、各学会総会、 9月24日(土):エクスカージョン 大会期間中に総会、幹事会、理事会、各委員会を開催
11月	幹事会
12月	理事会
12月	ニュースレター98号発行
1月	幹事会
1月	会誌「応用生態工学」Vol.25-2発行
2月	理事会
2月	ニュースレター99号発行
3.31	2022年度(令和4年度)終了

6 事務局より

6.1 住所等の連絡先が変更となった場合は連絡をお願いします

会員情報の変更登録は、ホームページのトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「会員登録情報変更フォーム」から入力して送信してください。

また、下記 URL で「会員登録情報変更フォーム」へ直接接続することもできます。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

会員情報変更のご連絡は、学会事務局のアドレス E-mail: eces-manager@ecesj.com にメールをいただくことでも可能です。

会誌のお届け、ニュースレター、その他連絡では、かなりの不達が発生しています。 よろしくお願いたします。

6.2 退会の申し出は学会ホームページの退会フォームからお願いします

退会の申し出については、退会フォームのほかに、事務局へのメール、電話、年会費払込請求書の通信欄に記載等でなされています。事務局の見落とし等の原因の元になりますので、できるだけ退会フォームまたは件名に「退会の連絡」等明示したメールによる申し出をお願いいたします。

6.3 会員数および LEE 購読者数

2022年6月10日現在

	会員数	対前年同時期比較	LEE 購読者数
名誉会員	10 名	増 1 名	2 名
正会員	874 名	増 4 名	※61 名
学生会員	76 名	減 10 名	2 名
合 計	948 名	減 17 名	65 名
賛助会員	46 法人 (65 口)	増 2 法人 (増 2 口)	

※賛助会員 1 社を含む